

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			フロアも広く十分なスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		利用定員に対しての配置数は十分に確保できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	車椅子での利用は難しいが、段差は少ない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	6			ケース会議や研修などを行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	3		保護者や児童の意向を反映し、改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			事業所のホームページに載せています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2	これから評価を行ってもらい改善していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			定期的な勉強会や研修会を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			アセスメントやモニタリングを行い、適切な計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			適切な書式を用いて、実行しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			日々プログラムを作成し、チームで行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			リーダー持ち回り制にして様々な活動が出来るよう工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			その日に応じた活動時間や課題を計画して支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別・集団の支援内容を計画して作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝礼や活動前にミーティングを行い、役割や目標などを確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		就業時間が各々違うため、職員全員とまではいかないが、リーダーとの振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			記録用紙に各児童の計画を記載し、それに基づいた記録・支援を行っています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的なモニタリングや再アセスメントなどを行い、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	2		ガイドラインの物や独自に作った活動を組み合わせ合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者と状況に応じて指導員の参加を行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	1	保護者との連絡が取りづらい状況があったので緊急連絡先などより念密な情報を記載し対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2		重度な児童は今のところいませんが、主治医との連携はしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		就学後に利用される児童が多かったため情報共有の機会が少なかったが、その場合は努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6		未だ対象児がいないため、行っていないが、そういった機会があれば努めていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		研修などがある場合は進んで参加し連携出来るようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			社会参加を目標としているため、課外活動やその際の他者との交流など、そういった機会を多く設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	未だ参加しきれっていない所があるので、積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎の際や電話連絡などで、問題点や課題など伝えあい必要であれば会議などを行い共有する様努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6			定期的に面談を実施しており、その際に障がいの特徴や特性など話し合っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			利用前に説明する機会を設け、時間を掛け説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			事業所で会議を開き、話し合いを行ってから助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			定期的に保護者参加のイベントを行い、交流・連携などの機会を設けています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			事前に体制状況を説明し、周知してもらい、そういった事象があった際には適切に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			月に1度通信を発行し情報を発信しています。長期休みの前など別に予定表などを作成し、発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			外部には漏れないよう施錠や職員への周知を徹底しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			障がい児や保護者と気軽に話ができる環境作りができるよう努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	2	行事への招待は行っていませんが、地域のお祭りなどにお手伝いなどで参加しています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		研修会を開き職員間では周知していますが、保護者まで完全に周知させるまでには至っていません。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に2回備品の確認・訓練など行っています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修会に参加し、定期的に勉強会を開き職員への研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		6		身体拘束を行う場合の説明などは職員に周知させているが、実際には対象児がない為、行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			利用前のアセスメントに医師からの指示を記載し、職員全員に周知させ対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			事例集や今までの事業所内でのヒヤリハットを活用し、研修や勉強会などを実施しています。